

雪嶺集

〈宮坂静生 鑑〉



朧 夜

小林 貴 子

雪解星役者は声が命とぞ
朧の夜硯に触れて安らぎぬ
うとんぼの山葵の茎や人恋し
燕や貿易船が荷を下ろす
アスパラガス別離の会を銀座にて
アスパラガス祭のドイツいざ行かむ
手相見て何も分らず種を蒔く
世捨人佇む川原燕来る
暮の春壺入り魚介スパゲッティ
入学の仏頂面は私なり

(馬場あき子先生)